

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年7月4日

化学物質等のコード : 1302-6350

化学物質等の名称 : しゅう酸マグネシウム二水和物

2.危険有害性の要約

分類の名称;急性毒性物質

危険性;-----

有害性;粉塵は眼、皮膚、気道に対して刺激性があり、薬傷を起こす。経口摂取すると口、食道、上気道を腐食し、潰瘍を生じ、鼻血、頭痛、咳、吐血、灼熱感、胃痛、虚脱、痙攣を起こし、死亡することがある。主な症状として腎障害、腎尿細管腔における尿酸カルシウムの蓄積がある。又、消化器、中枢神経、神経系、心臓の障害を生じることがある。

環境影響;-----

3.組成、成分情報

化学名 しゅう酸マグネシウム二水和物
含有量 95 %
化学式・分子量 MgC₂O₄·2H₂O = 148.35
化審法公示番号 -----
CAS No.547-66-0

4.応急処置

目に入った場合;直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。
皮膚に付いた場合;付着部又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合;鼻をかみ、重曹水でうがいをさせ、新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、医師の手当を受ける。
誤飲した場合;多量の牛乳を飲ませて、吐かせ、安静保温に努めて、直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法;不燃性である。灼熱されると分解して有毒な一酸化炭素ガスを発生する。周辺火災の時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。

消火剤;-----

6.漏出時の措置

飛散したものはできるだけ空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管

- ・容器は直射日光を避け、なるべく涼しい場所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- ・その他、毒物及び劇物取締法の定めるところに従う。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度作業環境評価基準;-----

許容濃度 日本産業衛生学会勧告値;-----

ACGIH (TLV);(参考 尿酸TWA 1mg/m³)

OSHA (PEL);(参考 尿酸air TWA 1mg/m³)

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化,または局所排気装置を設置する。
・取扱い場所の近くに安全シャワー,手洗い・洗眼設備を設け,その位置を明瞭に表示する。

保護具

保護眼鏡,保護手袋,保護長靴,保護衣,防塵マスク(火災時:空気呼吸器)

9.物理的及び化学的性質

外観 白色～殆ど白色,粉末

蒸気密度 データなし

沸点 データなし

蒸気圧 データなし

融点 データなし

比重 データなし

溶解度 水に難溶(0.07g/100g,16), 希酸,アンモニウム塩水溶液に可溶。

10.安定性及び反応性

引火点 データなし

爆発範囲 データなし

発火点 データなし

安定性・反応性 安定. 150 で無水物になる。

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 データなし

刺激性 データなし

変異原性 データなし

がん原性 データなし

慢性毒性 尿酸毒性として;腎障害,腎尿細管腔における尿酸カルシウムの蓄積が認められる。

12.環境影響情報

魚毒性 データなし

分配係数 データなし

13.廃棄上の注意

燃焼法

・焼却炉で焼却する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : データなし

海上輸送 : データなし

航空輸送 : データなし

国連分類番号 : クラス6.1(毒物)

国連番号 :

15.適用法令

毒物及び劇物取締法劇物 包装等級3

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。